

令和4年11月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	8	議席 番号	1	氏名	渡 辺 佳 正 議員	1 / 2
発 言 項 目				要 旨		答 弁 者
1				<p>市立病院と清掃センターの建て替えに係る検討状況及び公共施設全体の中長期的な財政計画について</p>		市長 病院長 関係部長
<p>(1) 富士市は2036年度開院を目指しての富士市立中央病院建て替え計画を示した。病院間の役割分担や連携強化を重要な課題としている富士宮市立病院は、建物の耐用年数の観点からも、建て替えの検討が始まっていると思う。建て替えを検討するにあたって、いくつかの重要なポイントがあるため、以下伺う。</p> <p>① 現在の建物と医療設備で、市民の医療ニーズにいつまで応えることができるのか。</p> <p>② 富士市立中央病院や共立蒲原総合病院との役割分担及び連携強化を含め、将来の地域医療ニーズに応えるのに必要な富士宮市立病院の規模と機能について、どう考えているか。</p> <p>③ 上記の役割を果たす新市立病院を建設する時期と想定される費用について、どう考えているか。</p> <p>(2) 清掃センターは建物の長寿命化及び設備の更新を進めてきているが、焼却炉等の耐用年数を考えると、ごみ焼却プラントの建て替えについて検討を始める時期が近づいていると考え、以下伺う。</p> <p>① プラント建て替えにあたって、どういうことを重要なポイントとして検討していくのか。</p> <p>② 市が想定している建て替え時期と費用について、どう考えているか。</p> <p>(3) 市民文化会館の将来的（2050年代）な建て替え費用は、11月2日の全員協議会で約58億円と説明があり、文化施設個別施設計画では約92億円というグラフが示されているが、どちらが正しいのか。この差額の理由は何か。</p> <p>(4) 公共施設全体の長寿命化及び建て替えに関する中長期的な財政計画を策定し、5年ごとの見直しを進めていく必要性について、どう考えるか。</p>						
2				<p>農林水産省の「みどりの食料システム戦略」の一環として、有機農業を推進する自治体を支援するオーガニックビレッジ宣言について</p>		市長 関係部長
<p>(1) 市内の有機農家は、有機農産物の生産、農産物及び加工食品の販売、学校給食への食材提供、有機栽培の技術普及など、現時点でオーガニックビレッジ宣言を行っている他の自治体と比べて遜色のない活動をしている。富士宮市もオーガニックビレッジ宣言に向けて、まずは市が手を挙げて、詳細な有機農業推進計画を有機農家及びその関係者と協議して進めていけばよいのではないかと考えるが、市の考えを伺う。</p> <p>(2) オーガニックビレッジ宣言の準備段階で市が果たす役割として、積極的な姿勢を求めたいため、市の考えを以下伺う。</p> <p>① 他市町の先進事例に関する情報を収集して、関係者に提供することについて。</p> <p>② 交付金のメニュー及びその申請方法などを関係者に周知することについて。</p> <p>③ 市役所内の関係部署（企画戦略課、商工振興課、観光課、子ども未来課、教育委員会など）との連携を図ることについて。</p>						

発言 順序	8	議席 番号	1	氏名	渡 辺 佳 正 議員	2 / 2
発 言 項 目			要 旨			答 弁 者
			④ オーガニックビレッジの取組を、慣行農家を含む多くの関係者・市民にPRして、市全体の取組に広げていくことについて。			